

2023年度 七北田中第1学年だより

道標

2023.9.26 No.8
文責 C

君たちはどう生きるか

【一学期の終わりによせて】

入学して半年がたつ。複数の小学校から入学してきた皆が、偶然、七北田中で出会った半年。仲間と、多少のトラブルはあるにせよ、全体としては、順調に中学校生活が軌道に乗ったと言えるのではないだろうか。こうしたことは、合唱コンクールでも、校外学習でも、学年レクでも、仲間の要求や指示、ヘルプに思いを馳せながら、共同して臨機応変に活動していたところから垣間見ることができる。

一方で、なかなかなじめない、友達づくりがうまくいかない、引っ込み思案だったり、いろいろ気を遣いすぎたりするために、どのように関わったらいいかわからないなどの理由や不安から、軌道に乗り切れていない人もいる。隣人やクラスや部活に、そういう人がいたら皆はどうする。

先生は、その人個人の問題だととらえるか、周囲の問題もあるのではないかととらえるかで、大きく違うと思っている。前者のようにとらえると、個々人が自分のことばかりを優先し、周囲のことは他人事になり、個々人の良いところが活かされないばかりか、ギスギスした空気感の集団になる。後者のようにとらえると、心に余裕のある人が声をかけたり、傾聴したり、誘ったりする人の動きが生まれる。すると、今まで見えなかったお互いの良いところが見えるようになり、個々人の良いところが活かされ、お互いの苦手な部分を補完し合う暖かい空気感の集団になる。全ての人にとって、安心して成長を促す集団とはどちらなのだろうか。皆は、どちらのとらえ方をする人なのだろうか。

「優しい」ということは、「人の憂いを感じ、そっと手を差し伸べられること」だと先生は思う。優しい気持ちは誰もが持っている。だから、「優しい人」がいるのではなく、心に余裕のある人が優しくできるのだ。誰もが持っている優しい感情を、誰もが発揮できるように、心に余裕のある人から動き出してほしい。水面に波紋が広がるように、それぞれが優しさを発揮できるようになるのではないだろうか。

【自分を耕すためには】

これまでの生活の様子から、「(やりたくないから)もう無理」、「(期日までやっていないのは自分なのに)終わっていないから行きたくない」、「練習が辛いから、厳しいから、おもしろくないから」という自分の問題を棚に上げて) 周りが〜だから部活に行かない」など、自分以外のところに理由をつくって、「自分の現状」から目をそらす傾向が、少な

らずあることを感じている。人生を先に生きてきた経験からはっきり言えることは、「その考え方は自分の成長を阻害する」ということだ。

人生は長い。人には、必ず得手不得手がある。だから、人生の中で壁にぶち当たること、ストレスがかかることも当然ある。しかし、「ストレスは人生のスパイスだ(Dr. ハンス・セリエ)」という科学的実証もあるように、適度な壁やストレスが、心や体の成長を促す側面もある。

考えてみてほしい。毎日、楽なことばかり、労せずしてできることばかり、自分が楽しいと思うことばかりだったら、「楽しい」という感覚が麻痺していくと思わないか。運動しないと、筋肉が落ちて運動機能が退化していき、逆に適度に使うことでそれが発達するのと同じように、心(脳)も、自分や周りの生活をより良くするために、ちょっと頑張ってみること、難しいことを成し遂げること、その体験を通して感謝されたり、達成感を得たりすることで、より豊かな「楽しい」という感覚が生み出される。それが生きる力になるのだと思う。

さて、壁やストレスを乗り越えるためには、その人個人の問題だけではない問題・条件がある。それは所属する集団の力が必要だということだ。人には得手不得手があるのだから、困難を克服するためには、ちょっとした支援が必要だったり、挑戦してみようという勇気が必要だったりする。頑張っている(頑張ろうとしている)人たちが阻害したり、足を引っ張ったり、過去を引き合いに出してレッテルを貼ったりするのではなく、応援したり支えたりしてくれる力のことだ。一年生の集団はそうであること、そうになっていけることを信じている。

【君たちはどう生きるか】

現在、「君たちはどう生きるか(監督:宮崎駿)」という映画が上映されている。もしかしたら観た人もいるだろう。この元になっているのは、1937年の「君たちはどう生きるか(著:吉野源三郎)」という小説だ。長く読まれてきた小説が、発刊から80年経った2017年には漫画化され、当時のベストセラー本にもなった。

内容は、コペル君というあだ名の15歳の少年・本田潤一が、友人たちと学校生活を送る中で経験した様々な出来事について、叔父がコペル君とノートを作り取りするという体裁で、「ものの見方」や「社会の構造・関係性」といったことが語られるというものだ。

「いかに生きるべきか」という倫理的な問題だけでなく、どういった社会的な認識(世の中の現状・課題を、事実に基づいてつかむこと)のもとで、どんなことを大切に生きていくかという問題が提示されている。中学生からの年代に間を投げかけてくれる書籍なので、一読してはどうか。



10月の行事予定

日	曜	学校・学年予定等	授業予定	給食
1	日			
2	月	専門委員会→部活なし	1・2・3・4・5・学	○
3	火	中央委員会 学期末美化週間	1・2・3・4・5・6	○
4	水		1・2・3・4・5・6	○
5	木	中学校区一斉あいさつ運動	1・2・3・4・道	○
6	金	終業式・新人大会激励会	1・2・3・4・5・式	○
7	土	新人大会①		
8	日	新人大会②		
9	月	スポーツの日		
10	火	秋季休業日		
11	水	秋季休業日		
12	木	始業式・報告会・任命式 職員会議→部活なし 月の授業	式・学・ 月の1・3 ・道	○
13	金	避難訓練	1・2・3・4・5・総	○
14	土			
15	日			
16	月	専門委員会→部活なし 後期教育実習(～11/6)	1・2・3・4・5・学	○
17	火	3年実力考査 調査書等作成委員会① 金の授業	金の1・2・3・4・5・総	○
18	水	市中音楽発表会	1・2・3・4・5・6	○
19	木	教科外研→部活なし ※道徳東北大会会場(1年2組授業提供)	1・2・3・4	○
20	金	体育祭 in シェルコム→部活なし	現地集合・解散	×
21	土			
22	日			
23	月	学年部会→部活なし	1・2・3・4・5	○
24	火	中央委員会	1・2・3・4・5・6	○
25	水		1・2・3・4・5・6	○
26	木	教科研→部活なし	1・2・3・4・	○
27	金		1・2・3・4・5・道	○
28	土			
29	日			
30	月		1・2・3・4・5・学	○
31	火		1・2・3・4・5・6	○